



ハンドラー

令和4年度採用（一般職行政）

監視部 密輸対策企画室

税関を志望したきっかけ

税関は安全安心な社会の実現を使命の1つとして、不正薬物や銃器等社会悪物品の国内流入を防いでいると税関業務説明会を通じて知り、その使命の気高さに惹かれました。



その中でも麻薬探知犬がハンドラー（使役者）と日々の訓練を通じてお互いの信頼と能力を高め、摘発に取り組む姿にやりがいを感じたことがきっかけで税関を志望しました。

現在従事している仕事の内容、やりがい、税関の魅力



税関に採用された後、令和4年度から麻薬探知犬管理センターで麻薬探知犬のハンドラーとして、担当犬と共に不正薬物の取締業務に従事しています。

主な業務内容としては、輸入される商業貨物や引越貨物の検査をはじめ、入国する旅客の携帯品や身辺の検査などを行っています。また、検査の間には犬の能力と自身の技術向上のために日々訓練を行っており、スキルアップを実感した際などは非常にやりがいを感じます。

なお、税関では、入関後に全国の税関職員が集まり初任科の研修が開催され交流を深めることができますとともに、税関業務全般の基礎をイチから学ぶことができます。また、希望すれば関連業務や外国語についての更なる研修を受講できるため、自分が希望する分野の知識を深めることができるなど、充実した研修制度が魅力です。



受験生へのメッセージ

各官庁の雰囲気は様々なため、興味を持った官庁の業務説明会や官庁訪問には積極的に参加し、自身に合う職場を探してみてください。特に税関は幅広い業務内容があるため、理系文系を問わず自身の強みを活かせる業務が必ずあると思います。いろいろな官庁をめぐり、その中で税関を選んでいただけると嬉しく思います。

